

社会福祉法人 敬信福祉会 法人新聞

環

-TSUNAGARI-



ユニフォーム、9年ぶりにリニューアル!

敬信福祉会は、おかげさまで今年度、創立30周年を迎えます。その記念プロジェクトの第一弾として、9年ぶりにユニフォームをリニューアルしました!

スタッフの意見も取り入れながら、デザインや機能性にこだわり、試着を重ねること約1年。ようやく納得のいく一着に出会うことができました。

写真は特養のもので、オリーブが介護職、ベージュがケアマネジャー&生活相談員、パープルが看護師です。また、デイサービスではスカイブルーへ刷新し、グループホームでもエプロンにロイヤルグリーンの新色を追加しました。

新ユニフォームは、スタッフはもちろん、利用者様からもご好評をいただいています!

行事報告

最近実施した行事の一部をご紹介します



春のお茶会

4月4日（土）、春のお茶会を開催しました。

本来は園庭で、満開の桜を眺めながらお抹茶を楽しんでいただく予定でしたが、あいにくの雨模様となり、屋内での開催となりました。

それでも、会場には穏やかな時間が流れ、スタッフによるオカリナ演奏などの余興もあり、和やかなひとときをお過ごしいただきました。

来年こそ、園庭で満開の桜を見ながら、おいしいお抹茶とお茶菓子が楽しめますように……！





特別養護老人ホーム バレンタインレク

2月13日（金）、特養でバレンタインレクをおこないました。吊るしたくす玉を叩き落とす「ピニャータ」に挑戦！ くす玉の中には、おいしいチョコレートがたっぷり。ゲットしたチョコは、あっという間に皆様のお口の中へ消えていきました。



グループホーム 百寿のお祝い

グループホームの入居者様が100歳のお誕生日を迎えられました！ お寿司を用意してお祝いし、百寿にちなんだ桃色のちゃんちゃんこをお召しいただきました。また、内閣総理大臣からの表彰状を、理事長が代読のうえ、贈呈いたしました。



ケアハウス 小料理かつらぎ

1月25日（日）、あいの里竜間の園庭で育てた大根を使い、ケアハウスで「小料理かつらぎ」（おでんレク）を実施しました。「雰囲気がいいね」「マスター、日本酒おかわり！」といった声も聞かれ、大根も味がよく染みっていると好評でした。



デイサービスセンター 迎春 書き初めレク

1月17日（土）、書道家の山辺航平先生をお招きし、デイサービスで書き初めレクを実施しました。丁寧なご指導のもと、皆様楽しく書道に取り組みれていました。最後は、先生に「謹賀新年」「あいの里竜間」と力強く書いていただきました。

今回、誌面では紹介しきれなかったイベントも、ブログやInstagramで随時発信しています。裏表紙に記載しているQRコードから、ぜひご覧ください！

3月



3/3 (火) ひなまつり献立



3/11 (水) 郷土料理・滋賀県



3/14 (土) ホワイトデー献立

あいの里は、ごはんが自慢!

季節の行事食



2月



2/3 (火) 節分献立



2/11 (水) 建国記念日献立



2/14 (土) バレンタイン献立

1月



1/1 (木) 元旦献立



1/3 (土) 正月献立



1/11 (日) 鏡開き献立

●●さんが言うにはな、あいの里の近くに、めっちゃうまい店があるらしいわん

その店は 〇〇で決まりや！ 第5回

皆様に教えていただいたあいの里の近隣エリア（大東市、四條畷市、生駒市、奈良市、東大阪市）にある美味しいお店を、ライター・ラギが実際に突撃して紹介する企画「その店は〇〇で決まりや！」。

第5回となる今回は、特養の主任生活相談員・廣瀬さんに教えていただいた、大東市で大人気のパン屋「**BAKERY&CAFÉ GAUDI (ガウディ)**」で決まりや！



BAKERY&CAFÉ GAUDI (ガウディ)

大東本店

〒574-0072 大東市深野 5-7-47

TEL：072-889-5677

定休日 年中無休

営業時間 7：00～19：00

※イートインスペースあり



大東市に、特養の生活相談員が愛してやまないパン屋があります。それは、大阪外環状線沿いにある「GAUDI (ガウディ)」。スペイン石窯パンの大きな看板が目印です。

石窯で焼き上げる、外はパリッと中はもちもちのパンを毎日100種類以上提供しており、カレーパングランプリでは3種類が金賞を受賞するなど、その実力は折り紙付き。今回は、そんなガウディ自慢のカレーパンを食べ比べてみました。

看板メニューの「牛肉ゴロゴロカレーパン」は、濃厚なカレーとサクサクの生地が絶妙な一品。「トロ玉キーマカレー」は半熟卵が入ったまろやかな味わいで、食べやすさも魅力です。

さらに、最高金賞を受賞した「牛肉ゴロゴロ辛口焼きカレー」は、クワッサン生地とスパイシーなカレーの組み合わせがクセになる味わい。

イートインスペースではオリジナルコーヒーも楽しみ、パン好きにはたまらないお店。その店は、スペイン石窯パンのガウディで決まりや！



小田

岩本



勤続30年 同期SP対談

30年、同じ場所で働き続けてきたふたりが語る、
あいの里の“これまで”と“これから”。

敬信福祉会の創立当初から現在に至るまで、30年にわたり勤め続けてこられた小田さんと岩本さん。人材の入れ替わりが激しいといわれる介護業界において、ひとつの法人でこれほど長く働き続けることは、非常に珍しいことです。小田さんはケアプランセンターのケアマネジャー、岩本さんは特養のケアマネジャーとして、今なお第一線で活躍されています。今回は、創立30周年記念プロジェクトの第二弾として、おふたりに同期対談をおこなっていただきました。

Q1：30年も働き続けてこられた理由は何ですか？

岩本：

「正直、若い頃は転職を迷ったこともありましたが。でも結局ここまで続けてきたのは、一緒に働いてきた人たちの存在が大きいですね」

小田：

「昔、僕らの世代がなんとしても踏ん張らなきゃいけない時期があったよね。あの苦しい時を乗り越えたからこそ、今があるのかなと思います」

岩本：

「あったねえ。もう一度同じことをやれと言われたら、たぶん無理ですね（笑）」



Q2：忘れられない利用者様とのエピソードはありますか？

小田：

「……改めて訊かれるとたくさんありすぎて、とてもひとつには絞れない（笑）」

岩本：

「確かに。でも思い返せば、昔は本当に必死で、うまく対応できなかったことも多かったと思います。今ならもっと違う関わり方ができたかもしれない、と思うことも多々ありますね」

小田：

「それだけ成長したってことだよ。その時その時で精一杯やってきたことが、今につながっている。だから、全部無駄じゃなかったと思います」



Q3：おふたりから見た施設長とは、どのような存在ですか？

岩本：

「いざという時に前に立ってくれる存在ですね。ある時、施設長が『頭を下げる役目は俺がやるから心配するな』と言ってくれたことがあって、あの言葉は今でも忘れられません。長としての在り方を、日々学ばせていただいています」

小田：

「厳しくもあり、怖くもあり……でも、最後には必ず助けてくれる方です。お恥ずかしながら、今でもお叱りを受けることはありますが、いつも本当に感謝しています。そうした安心感があるからこそ、ここまで続けてこられたんだと思います」

Q4：これからのあいの里を、どんな施設にしたいですか？

岩本：

「最近、特に若いスタッフたちが一生懸命頑張ってくれているのを感じています。だから、彼らが将来を思い描きながら、のびのび働ける施設にしていきたいですね。みんなが笑顔で、働き甲斐を感じられる施設に。僕らの世代は前に出るというより、支える側に回っていかれたらと思っています」

小田：

「僕は、地域の方に『ここやから』と思ってもらえる場所にしたいですね。皆様に愛される施設でありたい。今は昔よりも開かれてきているとは思いますが、まだまだできることがあるとも感じています」

Epilogue



“

対談後、バレンタインデーにちなんで、お互いにチョコレートを贈り合う一幕も。「これからもよろしく」と照れ笑いで言葉を交わすおふたりの姿が微笑ましく、とても印象的でした。

※本対談の実施にあたり、阪奈カントリークラブ様に会場のご協力を賜りました。この場を借りて厚くお礼申し上げます



2月1日は、ハクのバースデー♪

看板犬・ハクちゃんも、早いものでもう3歳です！
あいの里にやってきた頃はとても小さかったのに、
今では20kgを超える立派な大型犬に成長しました。
たくさんのスタッフや利用者様、ご家族様に可愛
がっていただき、毎日を元気に過ごしています。



HAKU_LOVEDRAGON_



敬信福祉会 あいの里竜間
公式ウェブサイト

法人概要、事業所紹介
求人情報、お問合せ
ブログ (月5~6回更新)



敬信福祉会 あいの里竜間
公式インスタグラム

ニュース、イベント、行事食、etc.
法人新聞では掲載しきれない情報を
随時発信中 (IG : @ainosato.tatsuma)